

# 平成20年度 決算特集号



平成20年度に整備された石和温泉駅前広場

平成20年度の一般会計と特別会計の決算が、9月議会で承認されました。

笛吹市誕生から5年が経過しましたが、現在の笛吹市の財政がどのような状況にあるかを市民の皆さんによく知っていただくために、“広報ふえふき決算特集号”としてお知らせします。

## CONTENTS

一般会計歳入歳出決算状況	2~3
平成20年度主要事業報告	4
合併特例債活用報告	5
ふえふき家の家計簿から	6~7
健全化法指数報告	8

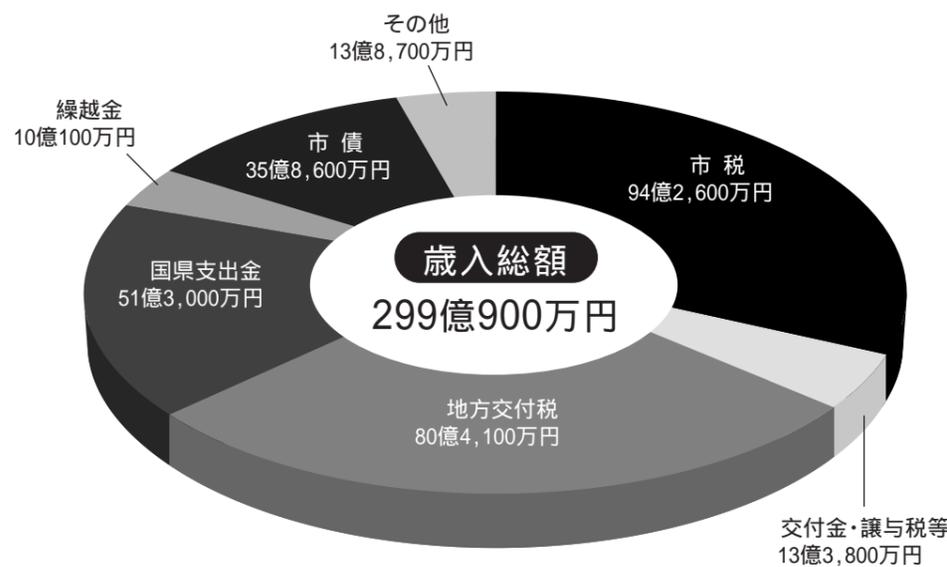
# 平成20年度一般会計の

# 歳入歳出決算状況

## 歳入

平成20年度の歳入決算額は、前年度より約12億円増え、総額299億900万円となりました。主な内訳としては、皆さんから納めていただいた市税の94億円が最も多く、続いて、地方交付税が80億円、国県支出金51億円となっています。

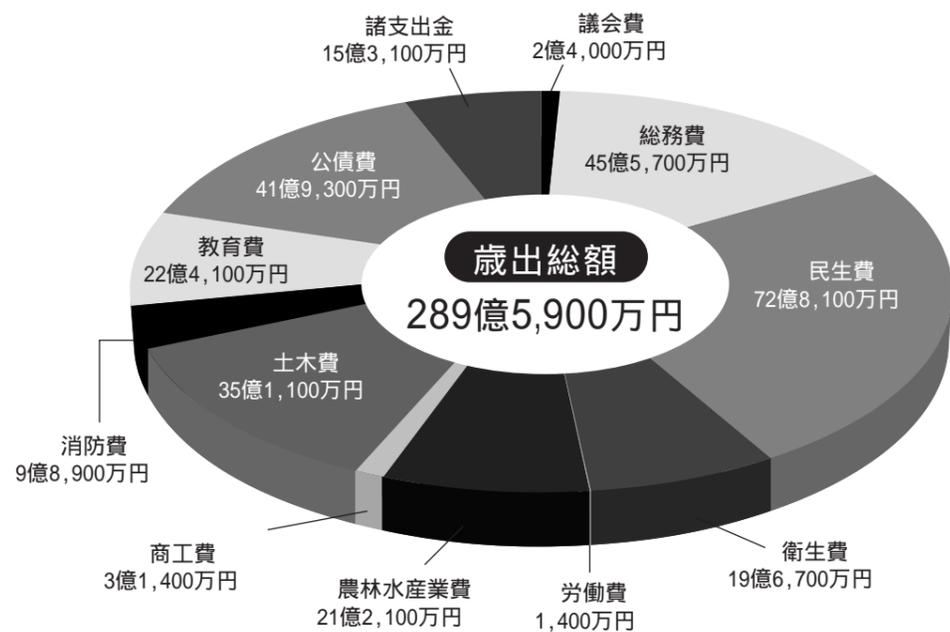
歳入決算は、前年度に比べ、国県支出金が約15億円、地方交付税が約5億円、市税が約1億円など、大幅に増加しました。その反面、地方消費税交付金などの各種交付金が約1億円減少したのをはじめ、市債が約4億円、繰入金が約2億円の減少となりました。国県支出金が大幅に増加した要因としては、景気対策による定額給付金事業や子育て応援特別手当支給事業などの導入が挙げられます。また、市債の発行額は約35億円となり、前年度に比べ減少しましたが、歳入合計の12パーセントを占めています。今後も、財政健全化を堅持していくために、自主財源の確保を図り、また次世代にも負担のかかる市債の発行をできるだけ制限しながら、費用とその効果について考慮して、無駄のない、より水準の高い住民サービスを提供できるように努力していきます。



## 歳出

平成20年度の歳出決算額も前年度より約12億円増え、総額289億5,900万円となりました。内訳は、民生費が72億円で最も多く、続いて総務費45億円、公債費41億円、土木費35億円となりました。

歳出決算は、前年度に比べ、4.5パーセント増加しましたが、その大きな要因としては、市債の借換えを行ったことと定額給付金事業(総務費)が挙げられます。そのほかの要因としては、八代統合共選所整備などによる農林水産業費の約4億円の増加、衛生費の約1億円の増加があります。一方、教育費については、史跡甲斐国分寺跡整備事業が縮小されるなど約2億円減少し、また、消防費については、特殊はしご付きポンプ車更新事業などが終了したため約1億円の減少となりました。構成比としては、民生費が25.1パーセントと一番多く、次に一般的な事務にかかる経費である総務費が15.7パーセントと続きます。今後、事務事業の見直しなどを行いながら、将来への負担をできるだけ減らすために経費の削減に努めていきます。



## 特別会計決算

	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	76億6,862万円	76億1,721万円
老人保健特別会計	6億8,442万円	6億8,440万円
介護保険特別会計	43億3,773万円	42億7,001万円
介護サービス特別会計	1,777万円	1,512万円
後期高齢者医療特別会計	10億2,627万円	10億2,331万円
公共下水道特別会計	45億9,765万円	45億5,427万円
農業集落排水特別会計	8,868万円	8,528万円
簡易水道特別会計	9億 292万円	8億4,713万円
温泉事業特別会計	8,812万円	6,996万円
恩賜県有財産保護財産区管理会	4,589万円	761万円
(9特別会計合計)		
水道事業会計	(収益的收入) 10億8,256万円	(収益的支出) 10億7,928万円
	(資本的収入) 3億3,113万円	(資本的支出) 6億4,453万円

## 財政用語三事典

**市税** 市が集める税金(市民税、固定資産税、軽自動車税など)

**地方交付税** 市町村の行政状況に応じて、国から地方に配分される収入

**市債** 市の借金

**国・県支出金** 国や県からの補助金

**交付金・譲与税など** 国や県が集めて、市町村に交付・譲与する収入(地方消費税交付金、自動車重量税譲与税、自動車取得税交付金など)

**民生費** 福祉、年金、医療、保育などへの支出

**総務費** 庁舎管理、人件費、戸籍事務などへの支出

**公債費** 借入金返済のための支出

**特別会計** 一般会計とは独立して、特定の目的を持った事業を行う会計

**市債の借換え** 借入先(民間金融機関など)との借入契約に基づき、返済期間の途中で残金をその時点の利率で借り換える(残金を全額返済し、同額を借り入れ)ことです。借入残高には影響しません。

# 平成20年度に行った主な事業

「みんなで奏でる」にぎわい・やすらぎ・きらめき」のハーモニー」市の将来像達成のために、289億円が使われ、多くの事業を行いました。

にぎわいのあるまちづくり

公共交通網の整備	6900万円
地域環境資源活用推進事業「ほたるの里」整備	8200万円
デスティネーションキャンペーン事業	640万円
芦川農産物直売所建設事業	3841万円
都市計画マスタープラン策定	600万円
石和駅前土地区画整理事業	1億9200万円



SLが走ったデスティネーションキャンペーン

やすらぎのあるまちづくり

ごみ減量化推進事業	6億3600万円
障がい者の自立支援事業	1億1700万円
バイオマスの郷づくり事業	3900万円
境川浄水場建設出資事業	940万円
消防施設整備事業	6513万円
南館太陽光発電事業	3904万円



境川浄水場建設現場(平成22年度完成予定)

南館に設置された太陽光発電システム



きらめきのあるまちづくり

協働のまちづくりの推進事業	980万円
学校教育ビジョン策定事業	89万円
浅川中学校技術科棟耐震改修事業	850万円
甲斐国分寺跡整備	1億6018万円



学校教育ビジョン

甲斐国分寺跡発掘調査



## 合併特例債を活用した事業紹介

市では、平成17年度から合併特例債を活用し、さまざまな事業を行ってきました。合併特例債の利用期限は合併翌年度から10年間と決まっていますことから、市では、事業を厳選の上、平成26年度まで本制度を積極的に有効的に利用し、まちづくりを進めていきます。

平成20年度は、前年度繰越分を含め約16億円の合併特例債を活用しました。その事業内容は次のとおりです。  
(事業名 事業内容 平成20年度合併特例債借入額)

道路新設改良事業  
市道の新設、改良  
2億5260万円

農業基盤整備事業  
農道、水路整備  
2億8480万円

消防施設整備事業  
消防車、詰所、耐震性貯水槽整備  
4950万円

西田川整備事業  
一宮町地内準用河川整備  
3440万円

## 合併特例債とは?

合併町村が、まちづくり推進のため、新市建設計画に基づいて行う事業や基金の積立に必要な経費について、合併当年度とその後10カ年度に限り、その事業費として借り入れることのできる地方債のことを合併特例債と言います。

事業費の約95パーセントを借り入れることができ、後年その償還金(元金と利子)の70パーセントが普通交付税で措置されます。

合併特例債を利用できるのは、次のような事業です。  
道路、橋梁整備など、合併町村相互の交流や連携を円滑にする事業  
未整備地区への施設整備など、合併町村間の均衡ある発展に資する事業  
現存する類似の目的を有する施設を統合する事業  
新市の地域振興などのために設けられる基金の積み立て



一宮町地内準用河川整備



八代町地内「ほたるの里」整備

地域環境資源活用事業  
八代町地内「ほたるの里」整備  
2390万円

浄水場整備出資事業  
境川地内浄水場建設  
940万円

地域振興基金造成  
3年間総額で30億円の基金積立て  
9億5000万円

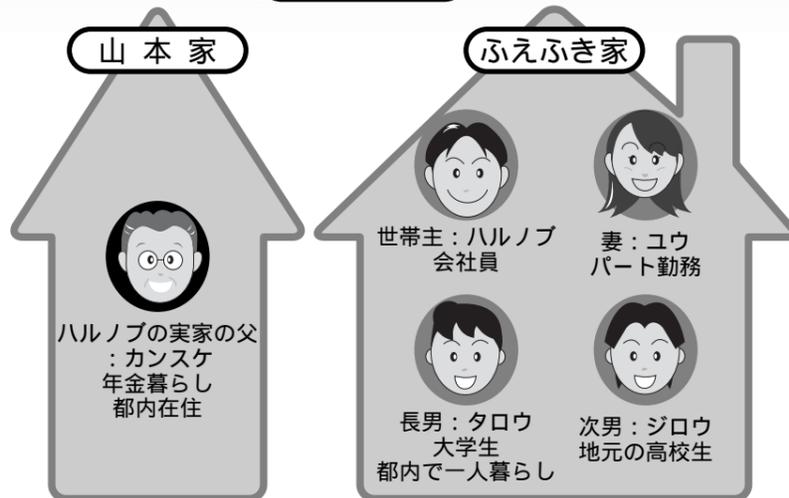
ふえふき家の家計簿から

もし笛吹市が総収入600万円  
の家庭としたら？

市の財政を分かりやすくするために、一般会計の歳入総額299億円を総収入600万円の「ふえふき家」の家計簿に置き換えてみました。  
平成20年度の台所事情は昨年度と比べて、変化があったでしょうか。

「ふえふき家」の家族と一緒に考えましょう。

登場人物



「ふえふき家」の家計の状況

「ふえふき家」は、4人家族です。  
その主な収入は会社員ハルノブの給与所得と妻ユウのパート収入です。  
子どもの教育費や住宅ローンの返済に出費がかさむため、ハルノブは、父カンスケから多額の援助を受けて、家計をどうにか維持しています。

秋の連休のことです。..  
久しぶりに、カンスケが「ふえふき家」を訪れました。いつもカンスケは、息子ハルノブの家計を心配しています。  
そこで、家族みんなで平成19年度・20年度の家計簿を比較してみることになりました。

解説

1 市税や地方譲与税などはほとんど増えていませんが、地方交付税や国県から補助金は増額となりました。  
特に国からの補助金は景気回復対策のために大幅に増えました。

2 国民健康保険、介護保険、上下水道などの特別会計の不足分を一般会計から、繰出金として支出しています。  
上下水道の特別会計では繰出金だけでなく、独自の借入れも行っています。

3 この春先に景気対策事業の一環として、定額給付金事業を行ったために、補助費は昨年度より急激に増えました。  
また、少子高齢化の社会が進む中で、生活保護や医療、高齢者福祉などの社会保障にかかる「扶助費」も増え続ける傾向にあります。

4 市では5年間で職員1000人減を目標に掲げ、スリムな市役所づくりに取り組んでいます。  
5 「ハルノブの頑張り」とは市税収納率の向上のことです。  
収納率とは課税総額に対して市に収まった税額の割合です。  
笛吹市の平成20年度の市税全体の収納率は77.8%（現年分94.3%、滞納分11.3%）でした。

自主財源確保はもちろんのこと、住民の負担の公平性を保つためにも、収納率の向上は、今後とも笛吹市の大きな課題です。

ハルノブ  
そうだね、いつまでも父さんに頼ってばかりいられないね。  
一家の大黒柱として、もっと頑張らなくちゃ！（5）

ふえふき家の家計簿

支出				収入					
ふえふき家の家計簿 ← 一般会計決算				ふえふき家の家計簿 ← 一般会計決算					
支出の内訳	性質別歳出	昨年比		収入の内訳	歳入内訳	昨年比			
食費	97	人件費	48	-3	給与収入 (ハルノブ)	189	市税	94	+1
保険・医療・税金	75	扶助費	37	+2	パート収入 (ユウ)	28	譲与税・交付金	14	0
住宅ローン返済	84	公債費	42	+10	生活費援助 (カンスケより)	161	地方交付税	80	+5
光熱水費、衣服 住居、教育	85	物件費	42	-1	家の改築援助 (カンスケより)	102	国県支出金	51	+14
家の改築	66	普通建設事業費	33	-8	教育ローン	72	市債	36	-4
洗濯機修理	2	維持補修	1	0	定期預金解約	4	繰入金	2	-3
こづかい (ジロウ)	60	補助費	30	+8	昨年からの繰越	20	繰越金	10	-1
仕送り (タロウ)	80	繰出金	40	+3	雑入	24	その他	12	0
定期貯金	32	積立金	16	+1	収入合計	600	歳入合計	299	+12
支出合計	581	歳出合計	289	+12	(万円)		(億円)		



タロウ  
そう言わないでよ。ぼくだって自分でバイトしたり、奨学金借りてやりくりしているんだから。未来への投資だと思ってよ。



ユウ  
ジロウの小遣いも、タロウの仕送りに負けないくらい増えたわね。



ジロウ  
お小遣いといえば、第一希望の高校に合格できたから、カンスケおじいさんからお祝いをたくさんもらったんだ。（3）



ユウ  
大切に貯金してある？



ジロウ  
うん。ちゃんと貯金した。



カンスケ  
ユウさんは食費を切り詰めてよく頑張っているね・・・。（4）  
ハルノブも会社が不況で大変だと思っけど、給料が上がるようにもっと頑張れよ。



ハルノブ  
そうだね、いつまでも父さんに頼ってばかりいられないね。  
一家の大黒柱として、もっと頑張らなくちゃ！（5）

# 財政の健全化の状況は？

平成20年度決算に基づき、笛吹市の健全化判断比率と資金不足比率をお知らせします。

## 1. 健全化判断比率について

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」ができ、各自治体に財政の健全化を示す4つの指標を公表することが義務付けられました。これらは、市の財政がどのような状況にあるかを、年間の収支や負債の割合などの4項目で財政の健全化の状況を示すものです。

笛吹市の4つの指標は、いずれも基準内でした。



笛吹市の比率は？		健全段階	財政の早期健全化	財政の再生
<b>実質赤字比率</b>	赤字なし	指標の整備と情報開示の徹底	自主的かつ計画的な改善努力による財政健全化 <b>早期健全化基準</b>	国等の関与による確実な再生 <b>財政再生基準</b>
一般会計の赤字の割合		0%	12.56%	20%
<b>連結実質赤字比率</b>	赤字なし			
一般会計、特別会計、企業会計を含めた会計の赤字の割合		0%	17.56%	40%
<b>実質公債費比率</b>	13.5%			
一般会計の標準的な収入に対する借金返済の割合		0%	25%	35%
<b>将来負担比率</b>	111.4%			
将来負担が見込まれる負債の割合		0%	350%	

## 2. 資金不足比率について

笛吹市の公営企業(水道事業会計、簡易水道特別会計、公共下水道特別会計、農業集落排水特別会計、温泉事業特別会計)は、いずれの会計も資金不足は発生していませんでした。



笛吹市の比率は？		健全段階	公営企業の経営の健全化
<b>資金不足比率</b>	資金不足なし	指標の整備と情報開示の徹底	自主的かつ計画的な改善努力による経営健全化 <b>経営健全化基準</b>
公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する割合		0%	20%

問合せ先 経営政策部 財政課  
☎055(262)4111

発行 2009年11月1日 山梨県笛吹市役所 編集 経営企画課・広聴広報担当  
所在地 〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地 TEL 055-262-4111  
<http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp>